

# 吹田市のGIS いままで、そしてこれから

吹田市行政経営部デジタル政策室  
2024年10月8日(火)

## 目次

1. 吹田市について
2. 吹田市GIS年表
3. 統合型GIS「ちずの輪」の状況
4. 2018年当時の状況
5. 吹田市地理情報システム（GIS）最適化方針
6. 統合型GIS再構築
7. 吹田市共通基盤地図整備
8. 公開型GIS「マップなびすいた」構築
9. 今後の展望

## 1. 吹田市について

### ●吹田市の概要

- ・位置：大阪府の北部
- ・面積：36.09 km<sup>2</sup>
- ・総人口：38万3419人  
(2024年7月現在)



## 1. 吹田市について

### 北大阪健康医療都市「健都」

「健康」「医療」をコンセプトとし、国立循環器病研究センター等の研究機関・医療機関・企業等が集積してオープンイノベーションを展開。



### 千里ニュータウン

昭和37年(1962年)にまちびらきした、全国初の大規模ニュータウン。50年以上が経ち、建て替えや駅前再整備が進んでいます。



### ガンバ大阪

吹田市を中心とした北摂7市をホームタウンとしているJリーグ・ガンバ大阪。本拠地『Panasonic Stadium Suita』で活躍するチームを応援しています。

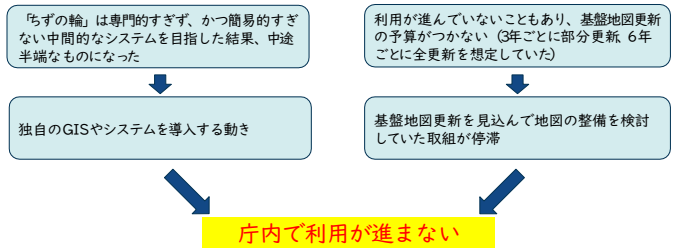


## 2. 吹田市GIS年表

2006年度(平成18年度)	統合型GISとして「ちずの輪」の運用開始
2018年度(平成30年度)	吹田市地理情報システム(GIS)最適化方針を策定 統合型GIS再構築 現統合型GIS運用開始 旧統合型GIS「ちずの輪」運用終了
2019年度(令和元年度)	吹田市共通基盤地図更新(以後、毎年更新)
2023年度(令和5年度)	公開型GIS「マップなびすいた」構築・運用開始
2024年度(令和6年度)	公開型GIS「マップなびすいた」コンテンツ追加(予定)

## 3. 統合型GIS「ちずの輪」の状況

2006年度(平成18年度)に運用開始した「ちずの輪」について、以下のような状況が生じておりました。



## 4. 2018年当時の状況



### 庁内利用

#### 統合型GIS

庁内で保有する地図情報の共有し、簡易なGIS機能を提供

• ちずの輪

**問題** 機能面で満足度が低く、システム老朽化も相まって庁内での利用が進まない。

#### 独自GIS

個別業務特化したGISを所管室課が独自に導入

- 下水道計画支援システム
- 吹田市指定道路システム
- 固定資産評価支援システム
- 道路管理システム等

**問題** 独自GISが多数存在し、全体的な把握や整理ができず、二重投資などが発生。

#### 公開型GIS

行政の保有する地図情報をインターネットに公開

- 都市計画情報すいた (その他、PDF、画像、Googleマップを利用した地図情報の公開もあり)

**問題** 公開しているコンテンツが少なくPDFや画像など公開形式もバラバラの状態。

#### 基盤地図

**問題** 2007年以降更新されてしていない。

## 5. 吹田市地理情報システム (GIS) 最適化方針



課題を解決していくにあたって「吹田市地理情報システム (GIS) 最適化方針」を策定し、庁内のGIS環境の最適化を目指しました。

### 吹田市地理情報システム (GIS) 最適化方針 概要

#### 全庁を俯瞰した戦略的なGISの実現

- 庁内での地図情報の有効活用、及び地図情報にかかる市民ニーズを踏まえて、全庁を俯瞰したGISのあり方を検討し、実践していく。
- 独自GISの集約や公開型GISへの展開も視野に入れ統合型GISを再構築し、GIS全体のシステム環境の最適化を図る。
- 市民サービス向上と地域経済の発展に寄与するよう公開型GISのあり方を見直し、オープンデータとして公開することを意識して推進する。

## 5. 吹田市地理情報システム (GIS) 最適化方針



### 目標

- ① 統合型GISの活用推進  
システム再構築による機能性向上及び利活用の推進
- ② 「吹田市共通基盤地図」の整備  
2007年に整備した基盤地図の最新化と更新ルールの策定
- ③ 公開型GISの推進  
全庁的な地図情報の公開に向けた検討
- ④ 吹田市全体のGIS運用費用の低減  
ネットワークの統合等、GISに係るトータル費用の低減策の検討

まずは①②に着手。土台を固めたら③④を進めていく。

## 6. 統合型GIS再構築

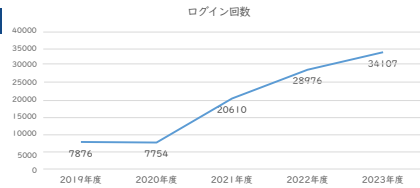


**2018年当時の問題** 機能面で満足度が低く、システム老朽化も相まって庁内での利用が進まない

**課題** 機能面の向上と使いやすいシステムの導入  
継続的な教育による利活用の推進

**スケジュール** 2018年8月 構築着手  
2019年3月 運用開始

### 結果



ユーザー作成レイヤ数  
1281件  
(2024年8月末時点)

## 7. 吹田市共通基盤地図整備



**2018年当時の問題** 2007年以降更新されていない

**課題** 基盤地図の最新化と更新ルールの策定

**結果** 2018年度 (統合型GIS再構築年度) は、当時保有するデータを統合した仮の基盤地図を作成  
以降は毎年更新する運用

### 更新方法

1. 道路台帳、住居表示台帳家屋外形、水道地形図、開発許可エリアなどで保有するデータを統合して暫定版の吹田市共通基盤地図を作成
2. 国土地理院に提供
3. 国土地理院から基盤地図情報返戻
4. 国土地理院からの返戻成果と1を統合



## 8. 公開型GIS「マップなびすいた」構築



**2018年当時の問題** 地図情報の提供方法や形式が統一されておらず、情報量も少ない

**課題** 統一的な公開型GISを構築し、市が保有する様々な地図情報を集約する

**狙った効果** 市民や事業者等の情報へのアクセスを容易にし、利便性や行政サービス向上  
窓口への来庁者数や問合せの減少

### 2023年度 公開型GIS「マップなびすいた」サービス開始

#### 公開コンテンツ (9件)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 地番参考図      | 建築基準法上の道路種別図 |
| 認定路線網図     | 都市計画図        |
| 公共下水道台帳図   | 屋外広告物規制区域図   |
| 住居表示       | 景観計画区域図      |
| 立地適正化計画区域図 |              |

2024年度にハザードマップ  
などさらに14コンテンツ追加  
予定

## 9. 今後の展望



### 目標

- ① 統合型GISの活用推進  
システム再構築による機能性向上及び利活用の推進
- ② 「吹田市共通基盤地図」の整備  
2007年に整備した基盤地図の最新化と更新ルールの策定
- ③ 公開型GISの推進  
全庁的な地図情報の公開に向けた検討
- ④ 吹田市全体のGIS運用費用の低減  
ネットワークの統合等、GISに係るトータル費用の低減策の検討

事業者向けコンテンツは充実している一方、市民向けコンテンツが少ない。

市民向けコンテンツの充実化と積極的な広報を実施し、市民の利便性向上を図る。

統合型GISでは対応できない個別的な業務で利用するための独自GISが依然として存在している。サーバやネットワークも自前で構築しているものもある。

サーバやネットワークなどの基盤部分を全庁の環境に統合する、あるいはクラウド化が可能な所管室課と検討を進める。



# 吹田市

SUITA CITY

End of the documents.